

森林・林業の情勢変化と課題への対応について

○平成 17 年度に「森林づくり指針」(目標 H27)を長期計画として策定し取組

【状況の変化】

【課題(例示)】

- 地球温暖化防止に向け、森林整備量が増加
- 局地的豪雨災害の増加等、災害に強い森林づくりが必要

- 持続的な林業と木材供給に向けた主伐の進め方
- 必要な森林整備量の精査と新たな間伐計画の策定
- 適地適木、適正管理、針広混交林化など災害に強い森林づくり

- 採算性の悪化等で、林業経営の持続や森林管理が困難
- 森林整備量と就業希望者が増加する一方で雇用ができないミスマッチ
- 森林税導入による県民理解と地域が取組が進展
- 林業や農山村の未来を脅かす野生鳥獣被害の増加

- 低コスト林業による所得向上など、林業を地域産業として発展する方策の展開
- 所有者が管理できない森林を管理する新たな手立ての構築
- 地域や県民・企業の活用など、間伐が進みにくい森林における新たな手法の活用
- 捕獲対策の強化、狩猟の担い手育成等による野生鳥獣被害低減

- 国際的な木材需給の状況変化と合板等における国産材需要の長期的増加
- 経済危機等による木材需要の減少・木材価格の下落

- 間伐材の搬出を含め、県産材利用の目標とそれを実現するための方策の展開

○指針策定後、約 5 年が経過し、新たな課題等へ対応した施策の展開が必要
⇒ H22 の県民会議・地域会議で、課題とそれに対応する今後の取組を検討

